

令和5年度 東京都立三田高等学校 学校経営計画

目指す学校 <教養・探究・立志そして世界へ>

<p>【教育目標】 国際化や情報化が急速に展開を遂げた知識基盤の中で、「新たな価値を創造する力」が必要とされている。総合的な人格の陶冶の基、新しい時代の課題解決に対応し、社会貢献できるような以下の人材育成を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 幅広くしなやかな知性と潤い豊かな感性をもつ教養人 自主・創造の意欲と忍耐力・協調性との調和のとれた高い徳性をもつ指導者 自己を厳しく律しつつ、常に進取の気概をもって社会貢献できる開拓者 	<p>【教育方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 問題・課題の発見から解決に到る主体的な学びを通し、真の個性・独創性に資する質の高い学力を育む。 体験活動、集団活動を通して、自主・自律の心、集団や社会の一員として自覚をもち、進んで社会に貢献しようとする精神を育成する。 キャリア教育を通して自己理解を促し、チャレンジ精神や進路実現に必要な資質能力を育む。 国際理解教育を推進するとともに、わが国の伝統・文化に対する理解を促し、真の国際人・教養人を育成する。 	<p>【目指すべき生徒像の将来像】</p> <ol style="list-style-type: none"> グローバル社会の中で、多様な価値観をもった人々と英語をツールとして、協働して課題解決に当たれる人材 高い志を有した教養人・指導者・開拓者として、仲間と協働し、ゼロから納得解を創造できる人材 Plan (計画)・Do (実行)・Check (評価)・Action (改善) の各能力、且つ、言語能力を持ち合わせ、社会で自立して生きていける人材 専門性を有し、AI時代を生き残ることのできる人材 AIにない読解力と調整力を有した人材 心身ともにタフな人材 									
<p>【スクールミッション】 国際化や情報化が急速な展開を遂げた知識基盤社会の中で、「新たな価値を創造する力」が必要とされており、新しい時代の課題解決に対応し、社会貢献できる人材の育成を目指して、国際理解教育を推進し、多読やディベート等の英語学習に力を入れた教育活動を通じて、国際社会に貢献する教養人、指導者、開拓者を育成します。</p>	<p>【スクールポリシー】</p> <ol style="list-style-type: none"> グラデュエーション・ポリシー 全ての教科・科目に取り組み、特別活動や道徳・総合的な探究の時間を通して、自分の専門性を高め、仲間と協調・協力して新たな価値を生み出す「創造力」を育てます。 カリキュラム・ポリシー 幅広い知識と教養を身に付け、多様な価値観をもった仲間と協働し、ゼロから納得解を創造する態度を養い、生徒一人一人の高い志に根ざした進路希望を実現できるように教育活動を展開します。 アドミッション・ポリシー 国際理解に関わる事柄に強い関心を持ち、国際社会で活躍する指導者としての資質や能力を身に付けるべく、高い志をもって主体的に学び、率先して他者との協働的な取組を実践して、自らの進路を切り拓いていく生徒を求めます。 										
<p>【本校の期待する生徒の姿】 本校は、「教養・探究・立志そして世界へ」のスローガンの下、主体的な学びを通して、自ら考え課題解決を図り、イノベーターとしてすすんで国際社会に貢献できる人間の育成を目標に掲げ、多彩な人材を送り出しています。また、海外との交流の機会を多く確保し、海外帰国生徒・留学生の受け入れ・送り出し等を行い、国際理解教育推進に力を入れています。そこで、次のような生徒を期待します。</p> <ol style="list-style-type: none"> しっかりした家庭学習の習慣が身に付いており、大学進学への強い意志を持ち、積極的に授業に取り組む生徒 学業成績優秀であり、総合的な学習の時間等においても、高い課題意識と意欲をもって探究をはじめとした様々な活動に取り組み、入学後もその維持・向上が期待できる生徒 部活動や生徒会・委員会活動、ボランティア活動等に自主的に取り組み、入学後も継続して活動が期待できる生徒 国際理解に関わる事柄について、強い興味・関心をもって、入学後も意欲的に学習する意志のある生徒 											
<p>【育成すべき資質・能力】 全ての教科・科目に取り組み、特別活動や道徳・総合的な探究の時間を通して、自分の専門性を高め、仲間と協調・協力して新たな価値を生み出す「創造力」を育成する。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">ア 志・学びに向かう力 (人間力・感性)</td> <td style="width: 33%;">イ 知識・技能1 (幅広い教養)</td> <td style="width: 33%;">オ 思考力・判断力・表現力等1 (課題発見解決力)</td> </tr> <tr> <td>ウ 知識・技能2 (コミュニケーション能力・協働性)</td> <td>エ 知識・技能3 (基本的な学力)</td> <td>カ 思考力・判断力・表現力等2 (主体的な学び)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>キ 国際理解力 (協働する力)</td> </tr> </table>			ア 志・学びに向かう力 (人間力・感性)	イ 知識・技能1 (幅広い教養)	オ 思考力・判断力・表現力等1 (課題発見解決力)	ウ 知識・技能2 (コミュニケーション能力・協働性)	エ 知識・技能3 (基本的な学力)	カ 思考力・判断力・表現力等2 (主体的な学び)			キ 国際理解力 (協働する力)
ア 志・学びに向かう力 (人間力・感性)	イ 知識・技能1 (幅広い教養)	オ 思考力・判断力・表現力等1 (課題発見解決力)									
ウ 知識・技能2 (コミュニケーション能力・協働性)	エ 知識・技能3 (基本的な学力)	カ 思考力・判断力・表現力等2 (主体的な学び)									
		キ 国際理解力 (協働する力)									

令和22年まで	*SDGsの17の目標と169のターゲットを意識した教育活動を行う。 *生徒・教職員全員でエンカルの行動を実践すると共に実現を図ろうとする人材を育成する。	※ エシカルとは、地球環境や国際社会、またそこに暮ら全ての人々にとって、より良い行動をしようとする考え方
令和5年	*創立100周年記念行事を適正に実施する。	

	取組目標	方 策	今年度の重点目標
中 期 的 目 標 と 方 策	1 社会で活躍する人材の育成 (学習指導)	(1) 「主体的な学び」の実現	ア 目標と評価を明確にする。 イ 基礎、基本の定着を図る。 ウ 考えさせ、表現させる。 エ 他の教科・科目との関連を考え、将来につながる授業を実施する。
		(2) 協働学習の推進	・ 生徒一人1台端末を活用した授業を実践する。 ・ 協働学習を推進する。
		(3) 探究活動の推進	論理的思考力を育成する。
		(4) 国際理解教育の推進	・ 英語4技能を定着させる。 ・ 語学研修を充実させる。 ・ 海外文化等を理解させる。
		数値目標 ○学校評価アンケート「学習指導の満足」の生徒肯定評価85%以上	
	2 「時を守り、場を清め、礼を正す」指導の励行 (生活指導)	(1) ルールとマナーの徹底	・ 三田高校生活指導統一基準等を遵守させる。
		(2) 時間厳守の精神の育成	・ 計画的な行動を身に付けさせる。
		(3) 帰属意識の育成	・ 生徒主体の行事の充実を図る。 ・ 生徒主体の委員会活動等の充実を図る。 ・ 生徒主体の部活動等の充実を図る。
	数値目標 ○学校評価アンケート「生活指導」の生徒肯定評価80%以上		
	3 高い志の進路実現 (進路指導)	(1) 組織的なキャリア教育の実践	・ 進路指導部と連携した指導を行う。
(2) 諦めない心と向上心の育成		・ 生徒の希望する進路を実現させる。	
(3) 外部人材の活用した講演会の実施		・ 国際教育部、WGとの連携した講演会等を実施する。	
数値目標 ○学校評価アンケート「進路指導・キャリア教育等」の生徒肯定評価85%以上			
4 戦略的な広報活動の展開 (募集対策)	(1) ホームページの活用	・ 計画的なホームページ管理を行う。	
	(2) 説明会等の実施	・ 組織的な対応を行う。	
	(3) 教育活動の広報	・ 三田高校の魅力を発信する。	
数値目標 ○応募倍率2倍の維持 ○更新計画に基づいたホームページ管理			
5 信頼に基づく安心・安全な学校	(1) 人権尊重の精神の推進	・ 人を大切にする教育を推進する。	
	(2) 安全教育の推進	・ 自助・共助の精神を育成する。	
	(3) 特別支援教育の推進	・ 外部人材を活用する。	
	(4) 持続可能な社会の実現	・ SDGsを推進する。	
	(5) コンプライアンスを重視した業務	・ 説明責任を果たす業務進行を行う。	
数値目標 ○学校評価アンケート「学校入学満足」の生徒肯定評価90% ○サービス事故ゼロの維持			
6 質の高い教育の提供	(1) 授業力の向上	・ 授業評価を活用し、授業改善を行う。	
	(2) 資質・能力の向上	・ 校内研修を充実させる。	
	(3) 働き方改革の取組	・ 働きやすい環境の整備と教職員の意識改革を行う。	
数値目標 ○学校評価アンケート「学習指導の教材や工夫」の生徒肯定評価85%以上 ○生徒による授業評価の活用			